

平成27年度第3回府中市立図書館サービス検討会議

平成27年2月18日（木）午前10時～
府中市立中央図書館会議室

1 開 会

2 議 題

(1) 開館10周年に向けて

3 その他

(1) 利用サービスの見直しについて

4 閉 会

<配布資料>

資料1 他図書館実施の記念事業に関する資料

資料2 第3期府中市子ども読書活動推進計画中間アンケート報告（平成27年度
実施）集計結果について

資料3 報告書委員コメント欄

平成27年度第3回府中市立図書館サービス検討会議議事録

日 時 平成28年2月18日(木) 午前10時から12時
会 場 府中市立中央図書館 5階会議室
出席者 栗田博之委員、茅原幸子委員、夏目雅裕委員、小島茂委員、
北谷豪委員、高橋博子委員、大石千鶴委員、渡辺信子委員
事務局 坪井図書館長、山本図書館長補佐、佐藤地区図書館担当主査、
田代、平野、菅沼(記録)

1 開会

2 議題

栗田 本日の議題に従ってすすめる。他自治体の資料を参考に、10周年のイベントをどのように行うか広く意見をいただきたい。事務局より、資料の説明をお願いする。

事務局 ルミエール府中が平成19年12月にオープンし、8年過ぎたところである。平成29年の12月で、開館10周年を迎える。開館5年の時には特に何も行っていない。PFIの事業は15年契約なので、10周年で行うのがちょうどよいと思われる。再来年度、平成29年度の事業となるため、来年度中に予算を計上することも含めて検討していきたい。10周年を迎えられたことを感謝してお祝いしたい。この10周年をきっかけにルミエール府中に来ていただけるようなイベントにしていきたい。資料は多摩地域26市の記念事業や府中市立図書館の50周年イベントについてのものである。参考にみていただきたい。利用している方が、こんなイベントがあったら楽しいのではないかという案があれば、皆さんよりアイデアをいただきたい。他市で行っているものと似たものでも、ここに載っていないものでも、色々な意見を出していただきたい。

栗田 資料に目をとおしていただいて、自由に意見をお願いしたい。意見集約をしなくていいということである。

事務局 予算を考えずに色々なアイデアをいただきたい。

茅原 50周年のときの市民の反応や参加はどうだったのか。

事務局 資料の中に50周年事業の時の企画書があるので、ご覧いただきたい。主なイベントとしては、北村薫氏の講演会、オカリナ奏者宗次郎さんの演奏会を行い、50周年記念のバッグをPFI事業者で準備して配布した。講演会や演奏会はコンベンションホール全部を使って、定員600名のところほぼ満席だった。宗次郎氏の演奏会は夕方からだったが、多くの方におこしいただいた。また、当日はルミ

エールの1階、2階を使い、いくつかのイベントを行った。例えば、第1・2会議室では、昔の郷土の映像資料をDVDで流し、時々解説を入れる形のイベントなども行った。解説は郷土の森博物館のボランティアの方にやっていただいた。定員50人の部屋に30人程度の参加者だった。1・2階、3～5階の図書館部分全部を使ってのイベントを行い、多くの方に来ていただいた。正面玄関で社会福祉法人ギャロップで、クッキーの販売を行った。1階レストランでは特別メニューを作って販売した。図書館の50周年だが、全館あげてイベントを行い、好評だった。

大石 図書館の50周年について市報では見たかもしれないが、こういうイベントをしていたという記憶がない。今度の10周年の時は多くの方が10周年イベントを行っているということを知るようにした方がいい。三鷹市の図書館を見ると周年をきっかけに図書館サポーターの募集がある。10周年の時に自分たちがこういうことをやった、市民が招かれるのではなく、関係していくという形がいいと思う。特にこれから先府中市を作っていくであろう子ども達に体験をさせるのはどうか。例えば、時々「絵本をつくろう」というイベントがあるが、子ども達に絵本を作ってもらって、図書館でその時だけ貸し出すなどというのはどうか。学校には負担だが、学校で1冊作る、あるいは学校ごとに代表作を募集してもいい。大学生、高校生、中学生、小学生と幅広い年齢の方が同じ課題で作ったものをお互い見ることによって異年齢交流にもなる。10周年の時にこんなことをやると子ども達の心に残るのではないか。その子ども達は、20周年、30周年の時も、図書館に対しての思いが強まっていくのではないか。

栗田 前回の50周年事業では、市民、ボランティアの方が加わったものはなかったのか。

事務局 ボランティアが加わった企画はなかった。企画書の(5)「私の一冊アンケート」は、市民に参加していただいたものである。当日アンケートをとったのではなく、事前に利用者のおすすめの本をアンケートでうかがってまとめて当日はその本を展示した。

栗田 お客様として来ていただくだけではなく、主催者側にまわってもらうというやり方を最近では色々なところが取り入れている。図書館のボランティアの方々も常日頃積極的に活動されているので、ボランティアの方々に加わる企画などがあつた方がいいのではないか。ボランティア活動を紹介するというやり方はよくあるが、日常の活動の延長となってしまうことが多く、イベント性が低いので、その時に合わせて何か企画を考える必要がある。この検討会議では、参加者が主催者側にまわるなど、どのような企画の可能性があるか提案していただく場である。今、一つ提案があつたが、同じように、どのようなやり方や巻き込み方があるか、広報の体制などについてもご意見いただきたい。

- 渡辺 周年イベントは色々なところで行われているが、主催者側が時間をかけて、準備して行っても、参加する側はすぐに忘れてしまう。大石さんが言ったように、あの時こんなことをしたと残るものになると良い。企画を市民から募っても良いと思う。子どもの読み聞かせを頑張っってやっていらっしやるグループが利用できるような小さな施設等を作っても良いのではないか。また、推薦図書アンケートをとったと聞いたが、本屋大賞に倣ってルミエール大賞を作っって、募集するのはどうか。ただし、1年・2年かけて継続的に宣伝しないとイケないと思う。
- 「10周年の時にルミエール大賞が始まった」などと記憶されるものとなっしてほしい。
- 栗田 前回イベントのあと、参加された方のアンケートはとったか。
- 事務局 アンケートをとった記憶はあるが、今詳細は覚えていない。イベントごとにアンケートをとったと思う。電子書籍や本の修理コーナーなどについては、人数が多いわけではなかったが、今後も行っしてほしいという意見があっったので、今でも書籍の修理コーナーは定期的に続っけている。好評だっったものは、サービス向上ということで、続っけている。
- 大石 その日ピンポイントでイベントめがけていく方もいると思うが、10周年だっったという印象が残りにくい。例えばイベントを行う日の前後1週間で10周年期間とし、あまり手のかからないことだけ2週間行っう。たまたま来た方が、府中の歴史を見ていこうということにもなる。私が提案した子ども達が作っった絵本を貸し出すというのは、その2週間だけということをやっやすいのかなと思う。子どもはいつもは借りる側だが、貸す側になるという体験になる。
- 栗田 1日にすべてのイベントをやるつもりなのか、メインのイベントの日はあるが、その前後1週間ほどの期間も行っうのか。
- 事務局 1日だけだと都合が合わないと参加していただくことができない。1ヶ月、2ヶ月など長期間は難しいが、多くの方に来ていただけるように、ピンポイントだけでなく、幅広く複合的に考えていきたい。
- 栗田 メインのイベントは土日に行っうつもりか。
- 事務局 多くの方に来ていただけるのは、土日である。
- 栗田 メインイベントは特定の日に行っうということになる。
- 事務局 50周年の時は記念式典を行っい、市長のお言葉などもいただっいたが、今回ルミエール開館10周年として行っうかはまだ未定である。
- 渡辺 市の施設にはたくさんのポスター、チラシが各所から送られてくる。一つ一つ見れば良いものだが埋もれてしまう。特に目立つように、ポスターにはお金をかけてもらっいたい。きちんとしたデザインで良いものを作ってもらっいたい。まず目立たないと、来てもらっうことができないと思う。
- 大石 美術館のチラシは厚紙カラーで目立つ。あのくらい力を入れてもいい。白黒でも

- デザインがいいといいかもしれないが。
- 茅原 広報ふちゅうの使い方をうまく考えるといいのではないかな。
- 事務局 なかなか図書館はトップページに掲載できない。
- 茅原 郷土の森はトップページになっているのを見る。
- 事務局 広報の特集は前年度に調査がくる。その時に10周年をやるので、1面に載せてほしいと交渉をすることはできる。
- 大石 コマーシャルが入るそのスペースにその月だけ図書館のお知らせを載せるのはどうか。
- 茅原 子どもがいきそうな場所やお店にポスターを張ってもらうのはどうか。
- 栗田 現在広報の話になっているので、前回どのような広報をおこなったのか、事務局から説明していただきたい。
- 事務局 前回のイベントは東京ガスとの共催で行った。北村薫氏の講演会は市主催で、宗次郎氏の演奏会は、東京ガスが主催で開催した。そのため費用は東京ガスにすべて負担してもらっている。ポスターやチラシはカラー刷りの厚紙で東京ガスが負担した。
- 大石 宗次郎さんを東京ガスが宣伝していたりしたのか。それに協賛したということか。
- 高橋 このイベントは夕方だったが、混んでいたのを覚えている。
- 事務局 講演会から演奏会の間があいていたが、その時間に図書館に来ていただいたり、北村氏のサイン会を行った。共催だったので、広告費をかけずに行うことができた。通常は費用がかかる京王線の駅へのポスター掲示をこの建物を管理している京王設備を通してお願いした。このときは広報はかなり力を入れた。一面ではなかったはずだが、大々的に広報を行った。
- 大石 募集をかけてどのくらいで定員になったのか。
- 事務局 先着にはなっていたが、チラシ裏面が申込書になっており、来館や郵送など色々な方法で募集をした。資料には残っていないが、1、2日というわけではないが、定員になり締め切った。あとから参加したいという連絡も多かった。
- 小島 広報の一つで、先程子どもにPRをとという話があったが、小中学校の全生徒に配付することはできる。枚数は必要になるが、子どもに渡せば、親も子どもと一緒に来ようという話になる。
- 大石 カラーのものを白黒にしてもいいのではないかな。子どもの作ってる本があるということになれば、来るのではないかな。美術館では美術展などで自分の子どもの作品が出ていけば、親子で来るので集客ができる。
- 小島 小中学校では、子どもの作品が出ている保護者には連絡をするので、親子で参加される。
- 事務局 紙自体カラーでもできるし、刷色を変えるということもできるので、工夫はできると思う。

栗田 今回はタイアップは考えているのか。

事務局 今のところ、まだ何もない。

栗田 市の予算だけではかなり厳しい。

事務局 10周年なので、こちらも財政にプッシュしていきたいと思う。

大石 手をあげてくるイベントはあると思う。今、公共のところに企業が入っていきこうという圧力はあると思う。自分のところの CM に使っている芸人をもっと一般に知らしめるという企業側の目的もある。リサーチすればひっかかるところはいくつかあるのではないかな。

夏目 イベントが決まった時に、積極的に企業に声かけしてもいいのではないかな。企業も社会貢献ということで実績になるので、協力を申し出ていいのではないかな。お互いに利益がある。

高橋 図書館のボランティアはどのような種類のものがあり、どのくらい人数がいるのかな。そういう方達が支えないと大変なのではないかなと思う。もし募集するのであれば、今くらいから考えていかないといけないと思う。

事務局 現在の図書館ボランティアは、児童サービスとハンディキャップサービスでボランティアの方をお願いしている。

高橋 前はどのようにボランティアが関わったのか。

事務局 わらべうたや読み聞かせのイベントはあったが、前は職員で行った。

高橋 長いスパンでイベントを考えているのなら、ボランティアの力は必要となってくる。府中市は意識の高い方が多くて、ボランティアを希望する方は多いと思う。1年くらい前から準備する必要がある。それだけ専従ではないが、ボランティアを募るといってお考えはあるか。

事務局 市全体としても市民協働を推進している。イベントに合わせてボランティアをお願いするにあたって、継続的にお願いするのがいいか、その場その場でお願いしていくのがいいかはわからないが。例えば、図書館ではハンディキャップのボランティアがいるが、図書館に登録していないボランティアの方、社協のボランティアもいるので、この機会にそういった方々を巻き込んで行うことも可能だとも思う。図書館のサービスを広げていく可能性にもつながる。

高橋 三鷹の資料のところで、図書館サポーターが載っているが、こういった形が定着するといいのではないかなと思う。子どもにも高齢者にもいいと思う。三鷹が色々なことをやっている。中高生のイベントなどもやっていておもしろい。

事務局 三鷹は50周年記念ということで出したが、割合常日頃から毎年図書館のイベントやフェスタなど行っていると思う。また、PRも上手で、新聞記事などにもよく出ている。

小島 普段やっていることを、50周年などの冠をつけてフレームアップしてやっているのではないかな。

茅原 三鷹市は図書館と商店街など市民と日頃からよく交流がある。府中市は図書館ボランティアはあるが、市民にはあまり知られていない。それを出していく機会としてもよい。図書館ボランティアとは別にそれ以外の子どもに読み聞かせをするボランティア団体はたくさんいるが、単体で活動している。府中は文庫連もなく、横のつながりがないので、こういう機会にどこかで横のつながりをもてないかと日頃から考えている。準備期間も長く取れるので、参加できる実行委員のような体制を作って、この活動が後々まで続いていくといい。府中は図書館が早くから発達して、地区館もどんどんできていったので、逆に市民や文庫から活発に湧き上がって活動するものが出てこなかった一つの要因になっていたと思う。小学校の方でもボランティアを行っているが、子どもが卒業したら活動は終わりになる場合が多い。卒業しても財産となって市民協働的などところに関わっていければいいと思う。もう一つは、小学校読書ボランティア交流会も毎年やっているが、自分たちだけでやっている就先細りになっている。お互いどんなことをやっているか紹介し合い、知恵を出し合い、細々と続いている状態で10年以上続いている。途中から、図書館の方にも参加していただいて、今年度に関しては、図書館の方に出前講座を行っていただいた。学校と図書館の連携ができたが、そこがあまり見えてこない。交流会を図書館と一緒にできないかと考えている。ボランティアは予算がないので、5年程前に、府中第二小学校では、子ども夢基金を使って交流会を行った。本の修理のプロの方を呼んだり、ストーリーテリングやブックトークの方を呼んだりして謝礼を出せる形で行って好評だった。図書館の「読み聞かせ講習会」は敷居が高いのか、学校ボランティアの方たちはなかなか参加しないので、交流会でそういう勉強会を図書館と共同でやりましたというのがあれば、もう少し盛り上がり持続できるかなと思う。今言った2つのイベントを提案したい。

小島 ここにおはなし会、電子書籍などはあるが、見に来て新しいものにふれあうコーナーを作るとしたら、オリンピック・パラリンピックコーナーを作るのはどうか。今年リオで2020年は東京オリンピックがあるので、それらに関する物を集中的に集めて見に来てもらうといいのではないかと。今の小中学生は東京オリンピックにどう関われるかなと考えている子どもも多いので、こういう企画があってもいいのではないかと。

夏目 バックヤードツアーはどうか。職員が何をしているのか、裏側を見せて回ってあげるといいのではないかと。相談にのる場合も資料をどんな風にするのか、など1つだけでなく、色々見せて回るといいと思う。

事務局 月1回図書館ツアーを行っている。50周年の時は図書館ツアーは行わなかった。その他の事業に人をかけてしまっていたと思う。

夏目 色々なものの中で見せていくのもいいと思う。確かに1つもいいが、色々なこと

やっているんだということを知ってもらえる企画があるといい。

- 渡辺 自動検索のシステムを見て、感動した。
- 小島 普段は気に留めないが、10周年記念で広報などに何回も載った時に、バックヤードツアーがあるなら行ってみようかなど、普段流れたものを目にとめてもらえるチャンスになる。
- 栗田 バックヤードツアーは、いつもは行けないところに行けるので、人気ができる。オープンキャンパスなどでも普段は入れない大学の施設に入れるので人気がある。定番として使いやすい企画である。若い人たち対象なら探検隊などの名前をつけて行なうと人気ができるのではないかな。
- 大石 ゲームをやっているところもある。今図書館で相談にのってくれるというお話があったが、意外と子ども達はこれ調べたいと思って、図書館へ行って調べておいでと言っても、本が探せないと言う。図書館の人に調べたい事を伝えれば本を探してくれるといっても、そのことを子どもは知らない。敷居が高く、忙しい職員に声をかけづらい。一人で聞けないので、一緒についていくことになる。それをゲーム形式でやるといいのではないかな。カードを引いてそこに書いてあることに関連する本を探すという形で、職員の人に聞いて探してもらうこともでき、その本の中から一冊借りてくるというゲーム形式にするのはどうか。図書館の職員にこれについて調べたいと質問するのを実際ゲームの中で体験ができる。次に何か調べたいことが出てきた時に、図書館の方に気兼ねなく質問して、丁寧に答えてもらった経験があると、そのあとずっと利用できるようになるのではないかなと思う。その時は競わせてゲーム形式で行うことで抵抗がなくなるかもしれない。
- 夏目 企画は基本的に図書館で作ってもいいと思うが、本を探してくるというのをゲームにしてもいいのではないかな。探す本はどこかに準備しておいてもいいかなと思うが、それがどこにあるかわからないから、探してみようというゲームにするのはどうか。児童室のエスカレーター側に季節ごとに飾りがあるが、どのくらいで替えているのか。その飾りをデザインはこちらで作るとしても、小さい子向けには、葉っぱ1枚でも形を切ってもらえばいいかもしれない。また、貼ってもらえば、あれは私が作ったということがまわりに広がり、図書館に来てくれる方が増えるのではないかな。
- 大石 ゲームの参加要件に図書館利用カードが必要とするのはどうか。そうすれば貸出冊数が増えるかもしれない。
- 渡辺 女性センターに勤務しているが、「男性も入っていいのかな」と聞く人さえもいる。
- 栗田 若年層をターゲットとしたアイデアが出ているが、主にターゲットは定めないということでもいいかな。
- 事務局 特に定めないし、幅広くと考えている。
- 栗田 幅広くということで、高齢者向けも含まなければならない。

- 高橋 ハンディ担当の立場からみると、点字体験や過去の教科書を振り返るといふのを考へている。ハンディに関しては、今元氣いっぱいでもいつなるかわからない可能性がある。こゝういった面の紹介はどうか。高齢者向けに、点字体験、電子書籍とか対面朗読の宣伝も行ってもいいのではと申す。子ども達に本をたくさん読んでもほしいので焦点はあてるが、読めなくなつてもこゝういったハンディキャップサービスがあるという紹介は、図書館や市の全体的な考へ方としても大事なのではないか。
- 渡辺 図書館を居場所として使っている高齢者の方も多い。ただ単に楽しく図書館で過ごしてもらうことでもいいのではないか。
- 北谷 本を読む時、夜バーで読むことがある。リラックスできる。最近カフェのある図書館が増えている。今、図書館は本を借りる、何かを提供するという役割が強いという気がする。コンサートをする、講演会をするなど。ただ本をゆっくり読む空間を作るといふのはどうか。三鷹市のをみるとキャンドルの中で朗読をといふのがある。記念行事のときだけ、大人の方がお酒を楽しみながら、お酒の本を読む。スイーツを楽しみながらお菓子の本を読める空間があるといいかもしれない。その時に普段は図書館で借りられないよゝうな本が読めると、こんなことを図書館はやっているといふことにもなる。どちらかといふと、ゆっくり読める環境を作つてあげるのはどうか。
- 栗田 50周年の時は、レストランのメニューを追加し、団体がクッキーを販売したといふことである。今の話だと、別にスペースを作らなければならない。
- 北谷 レストランに協力いただいて、フリーバーテンダーのカクテルを味わえるスペースを作つて、そこで図書館の本を楽しんでといふ形にすれば、立ち寄る人も増えるのではないか。
- 茅原 大人向けの企画だと思ふ。商工会議所でも広報はできるか。
- 北谷 商工会議所で会報誌を作っている。市内の事業者が会員だ。日中平日でも自由がきく人たちもいる。この会報誌に図書館の情報をいれてもよいのではないか。JCOM さんは、こちらから発信するとインタビューにきてくれるので活用した方がよい。地域の人を巻き込むのはいいと思ふ。以前、成人式のポスターを貼つてもらふために、市内事業所をまわつた。相手方に特にメリットはないが、協力してくれるところが多い。しっかりとしたポスターを作つて、足を使つて貼つてもらふためにまわるといいと思ふ。市内事業者、商店街、自治会、消防団などは、ポスターを貼つてもらふなどの協力をお願いするのにお金のかからないことである。
- 高橋 色々なアイデアが出ているが、PRの方法と行事を支えるボランティアについて考へることが大切である。そちらをしっかりと手当をすることで、初めてアイデアが生きてくるので、早めに検討していくといふ。PRの方法やボランティアの数に

よって、できることも広がるのではないか。

茅原 企画段階から関わるといいと思う。当日のボランティアも必要かもしれないが。図書館だけだと実現性を考えてできないこともでてくるが、早い段階から企画で参加して最後まで通して関わられる委員会的なものがあるといい。

高橋 10周年後も継続してボランティアとして残れる方は残っていただけると、裾野が広がる。

茅原 その先もずっとそれがいきてくるのではないか。

渡辺 仕事を割り振られるだけではなくアイデアをだしていく存在であるべきと思う。

栗田 三鷹は、半年位前から募集している。予算請求の時期を考えると、もう募集しなければいけない。

高橋 ボランティアの方は結構集まるのではないかと思う。高齢でも元気な方は増えているし、ボランティアをしようという意識は高い。こういうイベントを機会にボランティアを募集するとよい。社協は色々なイベントでボランティアを募集している。

栗田 早めにボランティアを募集した方がよいという意見がでている。

高橋 職員の方もそのほうがいいのではないか。

栗田 色々なアイデアを出してもらう場合には、なるべく広い層から意見を聞くというやり方がいいのだが、企画等を直接もちこんでもらうようなやり方もある。市民からのアイデアの募集は考えているか。

事務局 今こちらでアイデアをいただいている。

栗田 主催者側が中心となっていくのはもちろんだが、保守的になりがちなので、保守的でない意見を得るには、視点の違う立場の方から意見をいただくのも一つの方法である。ボランティアとして加わっていただくのではなくても、例えばネットで意見募集などをおこなっても良いのではないのかと思う。時間があるのであれば、そういった方法も試してみてもいいのではないか。

茅原 読み聞かせをやっている方たちは、好きでやっているのだから、お金がなくてもできるのだが、チラシの紙代など、市の予算でもってくれれば行動を制約されない。何をするにも現在は持ち出しになっている。それを協働でできれば、やっていただける方はいるのではないか。

大石 自分の母を見ていても、高齢者向けに読み聞かせや朗読をするのは難しいと思うので、早めにボランティアを募集して、勉強会のような形で市内のデイケア施設などで試しにやってみるのはどうか。朗読劇的なものを3人位で役割分担して行うのもいい。その集大成を10周年で行う、施設にそのボランティアの方達が来てくれたとわかる人達は、10周年当日も行こうかということになる。当日を成功させるには、仕事を上から割り振られて、駒のように動くのではやっつる方ものってこない。アイデアを自分たちで考えるところから作り上げていく感覚が大

切だと思う。オリンピックなどは、ブラジルも終わってないのに東京の準備が始まっている。図書館の10周年の準備をするのに早すぎることはない。1年半後に10周年やるので、意見をください、ボランティアを募集するという事によって、あまり意見がなくても10周年を行う周知のきっかけになる。先程京王線にポスターを貼ってもらった話がでたが、西武線もあたっても良いのではないかと思う。

高橋 ボランティアの方に楽しい気分を味わってもらうことが大事だ。自分でその時にどれだけできるかということは別として、協働参画したということがその後が続いていくのではないか。ボランティアは無償でいいと考えている。そういう志の方にその後も残っていただいて、図書館をバックアップしていくというのが良い。地域の方や高齢者を巻き込んでいけば良い。孫の何か発表があるなら見に行くということで人数を増やしていく可能性は高くなる。先程も小学校の発表は見に来るといったのがあったが、それと同じことだ。

栗田 本のリサイクルを行っている市もあるが、どうか。

事務局 府中市は各地区館ごとに個々に行っていて、50周年の時にはそれに合わせてということは特に行わなかった。その時期に合わせて色々なイベントがあってもいいと思う。

大石 娘の大学で古本募金というのがあり、それもいいと思う。

栗田 どこに募金をするのが問題になる。寄贈していただいて、募金を図書館に入れるのではなく、資料の整備に使うというのでもできる。府中は図書館募金をやっているか。

事務局 やっていない。資料の寄贈は、寄贈された資料を、図書館で利用できるものは利用し、その他は市民に還元という意味でリサイクルをしている。図書館の不要や出版社や市民からの寄贈も中央図書館では定期的にリサイクルとして提供している。一部の地区図書館でも行っている。

栗田 イベントをどこまで網羅すべきかを見てきたが、皆さんの意見は大体同じようなところにいきつくという感じがする。ボランティアの件もあるが、むしろそれを企画したり、実行したりする体制を整える方が重要なのではないかと思う。早めに動いた方が良いという意見が多い。ここでもいくつかアイデアが出たが、巻き込みを広く募った方がいいのではという気がする。予算はいつ頃たてられるか。

事務局 来年度の夏頃から予算をたてる計画を始める。秋ごろから積み立てていくと思う。そういう意味では時間は意外とない。何をするかで、どのくらい費用が必要かを出していかないと間に合わない。

小島 今すぐに検討を始めてもいい。8月に予算検討なら、何をして、どれくらいお金かかって、どれくらい人が必要か決めるのに半年か1年かかる。

栗田 タイアップとれるかどうかとも早く進めないといけない。前回かなりそれが大きか

- ったという話があった。
- 小島 前回会社が絡んでくれて、上手くできたのではないか。府中にもたくさん会社があるので、いくつも会社とタイアップすると、市の予算が少なくてもそれなりのことができると思う。
- 高橋 ラグビーがらみでタイアップはどうか。
- 大石 HPで企画を募集することで会社の方からタイアップの話がくるかもしれない。タイアップの誘いも載せてみるのもいい。
- 栗田 前は東京ガスとどういう経緯でタイアップしたのか
- 事務局 当時の館長が東京ガスの方と懇意にされていた。
- 大石 ボランティアがたくさん関わってくると、そういう可能性も広がってくる。
- 小島 ある程度企画が固まれば、こういう企画はどうかと会社の判断できる立場の人に話をもっていけば考えてくれる。
- 高橋 1社でないとダメということはないのか。
- 事務局 そういうことはない。
- 小島 先程ラグビーという話がでたが、今年の成人式でラグビーの選手のビデオレターが評判良かった。
- 高橋 皆さんそういう事には敏感だ。
- 茅原 府中はスポーツが盛んだ。
- 高橋 東芝、サントリーともスポーツがあるが、会社なので企業イメージアップという事で言えばいいことなのではないか。
- 栗田 実情を言うと、色々なところから申込みがあって、先方も切り分けが大変だということらしいが、ここは郷土へのつながりを強く出していくといいのではないか。
- 高橋 どこかで平櫛田中さんのものや大槌町のものがあつたり、地域に根差しているものが利用されていることが多い。府中はそういうことは考えていないか。例えば郷土の誰かをお願いするなど。
- 事務局 今のところまだ考えていない。
- 大石 大企業でなくてもいいと思う。コナミ、学習塾などはどうか。図書館というところからよるこんでくれるのではないか。ベネッセはもともと本屋なので声をかけてみる価値があるのではないか。
- 栗田 予算がそれほど取れるわけではないことが予想されるので、ボランティアや企業とのタイアップを考えていく。それがないと、市の予算だけではこれだけしかできないでおわってしまうので、10周年を成功させるためには、初めから方針として入れておく必要がある。ボランティアの募集も早めに開始し、口コミで広めていくことも必要である。広報体制をしっかりと作らないとうまくいかない可能性がある。まだ早い段階なので、動けるところは多くある。事務局の方で色々工夫して行ってほしいと思う。

渡辺 10周年のイベントを行うということは確かか。

事務局 ルミエール府中としてやるか、中央図書館としてやるかは未定だが、10周年行事を行うことは決まっている。

渡辺 2年後にこのような行事を行うことを、一刻も早く公開をしたほうが良い。

事務局 もう少し皆様の意見をまとめてできるだけ早く動きたいと思う。

3. その他

栗田 次に利用サービスの見直しについて事務局より報告をいただきたい。

事務局 この件については、本日の午後に教育委員会で報告する項目なので、資料はなく、口頭での説明とさせていただきます。2点サービスの見直しの項目がある。1点目は、東京農工大学図書館との連携についてである。市内在住在学在勤の高校生以上で図書館の利用登録者は、今年の4月1日から東京農工大学の資料を借用できるようになる。今までは館内閲覧は可能だったが、今後は借用までできるようになる。今日の午後の教育委員会で承認の後、今年の4月1日からの実施となる。2点目は、団体貸出の数量の見直しを行った。上限を300冊から350冊に変更した。こちらも4月1日から実施する。また、前回の検討会議でも集計結果のみ配付したが、資料2の第3期子ども読書活動推進計画の中間アンケート報告集計結果についてを配付させていただいているので、ご覧いただきたい。

栗田 これは第3期の検討会議で扱う予定はあるか。結果ができれば、この会議で意見をいただくことになっていたかと思うが。見ていただいてご意見などある方は、今期中に事務局に申しでていただきたい。

事務局 前回策定の際にアンケートをとり、前期の検討会議でアンケートの内容について委員の皆様から意見をもらって盛り込んだ。そして第三期を策定した。期間が5年間あるので、半分の期間が過ぎたところで、アンケートをとって中間報告をするようこの会議でも意見をいただいていた。結果として、策定当時と傾向的なものは変わらない。現状維持とも努力不足ともとらえられる。これを受けて、4期を考える、また3期の残りの期間でどういうサービスができるかを考える資料として役立てていきたいと考えている。

栗田 中間報告ということなのでこの場で議論するのではなく、資料を見ていただいてご意見などある方は、今期中に事務局にメール等で申しでていただきたい。その他の報告事項はこれで終了とする。では資料3について事務局より説明いただきたい。

事務局 このメンバーで行うのは本日の会議が最後になる。第2期府中市立サービス検討会議の報告書を作成し、教育委員会に報告をする。毎回の会議の内容や成果をまとめたものである。そこで、委員の皆様よりコメントをいただきたい。感想や次回に引き続き検討していただきたいことなど、コメントをお願いしたい。お配りし

たものはこのくらいの分量という見本である。後日メールで依頼をするので、返信をお願いしたい。第1期の際の報告書がHPにアップされているので、そちらを参考にみていただきたい。

大石 私は今期でこちらの任期を終える。利用時間の延長について、現時点でどうなっているのか進捗状況だけでも教えてほしい。

事務局 延長のご要望はあるが、なかなか進んでいない。全部というわけにはいかず、また指定管理も考えていないので、臨時職員の雇用を増やして行うことを考えている。夜間どのくらいまで開館するか、どこかの館で行ってみてその結果をバックして検討していきたい。来年度から始めるというわけにはいかないが、実施検討していきたいと考えている。課題とさせていただく。

栗田 この会議で議論したコンビニエンスストアに返却ポストを設置するという点についてはどうなっているのか。

事務局 利用サービス向上の関係で、いくつか視察に行っている。先日雑誌スポンサー制度についてお話させていただいた。雑誌カバーに企業のPRを載せてそれによってその雑誌を購入していただくというやり方である。練馬と東久留米に行かせていただき、また今週他のところにも視察に行く予定である。それぞれにやり方もちがいが、何年かたってスムーズにいつているところと、始めたばかりのところにも視察に行っている。色々課題も見えてくるので検討しようと考えている。お話のあったコンビニエンスストアを利用している図書館の方も近いうちに視察に行くことになっている。市の状況も変わってきていて、南口再開発ビルに市政情報センターが入り、図書館機能を持たせるという予定になっている。ただ図書館オンラインシステムを入れるのは費用がかかりすぎて難しい。初期費用はいいが、翌年度以降のランニングコストは図書館もちということになる。返却ポストとリクエストの受け取りができるのではないかと考えている。オンラインはひいていないが、コンビニエンスストアを使ったやり方と近いやり方がそちらでできると思う。ただ開館時間は、19時半までの予定になっている。ブックポストは10時までになるのではないかとと思う。

高橋 返却が早くなるといいと思う。その後の本のまわりに影響してくると思う。

事務局 建っている場所と動線の関係で便利になるかどうかはわからない。市政情報センターの機能が主なところとなる。中央や宮町より少し駅に近い。PRが必要だと思おう。少しでも駅に近く、帰り際に返却できるとPRできれば、返却が早く動くのではないかとと思う。

大石 新市庁舎に入る図書館はどうなっているのか。

事務局 市役所の市政情報公開室と折り合いをつけているところである。

栗田 他に何かあるか。以上で本日の会議を終了する。先程お話があった報告書にのせるコメントについては、皆さんの思うところを書いていただきたい。事務局から

の連絡を待つて、締切までに送り返していただくようお願いする。私は、2期続けて議長を務めさせていただいた。委員の皆さんが積極的に発言をしてくださったので、議論の仕分けは必要だったが、こちらから無理に意見を求める必要はなく、非常にやりやすかった。活発な意見交換ができ、会議をすすめることができたことを皆様に感謝したい。

閉会

図書館実施記念事業例 一覧

26市(多摩地域)

図書館	周年	事業内容	備考
福生市立図書館	開館20周年記念	<ul style="list-style-type: none"> ・20周年記念誌作成 ・絵本作家いとうひろし氏にイメージキャラクターを描いてもらい、市民から名前を公募した。 	
東村山市立図書館	開館30周年記念	<ul style="list-style-type: none"> ・30周年記念以降の図書館サービスや担当業務の推移、関連団体の現状、統計的な資料をまとめた記念誌の作成。 ・図書館の歴史やサービス内容、市民活動の状況等をパネルにして継続的に展示。 ・図書館40周年・市制50周年記念「東村山ものしりシート」3種と「読書記録ノート」6種を作成し、各館で配布するほか、ホームページからもダウンロードできるようにした。 	
小平市立図書館	開館40周年記念	<ul style="list-style-type: none"> ・小平市立図書館ホームページへ開館記念の挨拶を掲載 ・全館における講演会や展示等の実施、記念冊子の発行。 ・本の修理体験会 ・あおぞらおはなし会等のスペシャルおはなし会 ・小平市立図書館40周年×ムサビ(武蔵野美術大学とのコラボ) ・ぬいぐるみのおとまり会 ・本の福袋 ・図書館スペシャルデーの実施 <p>※資料参照</p>	
国立市立図書館	開館40周年記念	<ul style="list-style-type: none"> ・連続講座「くにたち図書館の40年を考える」(全3回)を実施 	
稲城市立図書館	開館記念事業(開催年不明)	<ul style="list-style-type: none"> ・DVD映画でみる世界史(大串夏身講演会)、図書館活用講座、図書館利用講座、しかけ絵本講座の実施 	
調布市立図書館	開館40周年記念	<ul style="list-style-type: none"> ・記念事業を1ヶ月行った。(記念講演とシンポジウム「調布市立図書館のこれから」、朗読会による作品の朗読、文化会館たづくりでの記念展示) 	
清瀬市立図書館	開館40周年記念	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会の実施 	

図書館	周年	事業内容	備考
武蔵野市立中央図書館	開館20周年記念	・水えんにち、20周年テーマ展示、夕暮れ時のコンサート、記念講演会、どっきんどようび(工作教室)の実施。	
西東京市図書館	開館40周年記念	・「スタンプラリーめざせ！図書館マスター★」の実施 (図書館全館でのスタンプラリー、楽しいスタンプや本にまつわるクイズなどもあり。) ・縁講演会の実施(西東京市に縁のある方をお招きしての講演会) ※資料参照	
町田市立中央図書館	20周年記念	・図書館まつり「フェスタ ぶらり ライブラリー in まちだ」の開催 (図書館まつりでは、地域文庫、読書会など図書館登録団体によびかけを行い、参加団体の団体構成員による実行委員会を組織した。そこで、協働して図書館まつりの企画・立案・運営を行い、図書館シンボルキャラクターの募集と選考を行った。また、おはなし会や講演会等29のプログラムが実施された。 ※資料参照	※中央図書館の開館周年
町田市立金森図書館	10周年記念	・記念イベント、特集、展示の実施 ※資料参照	
移動図書館(町田市)	運行40周年記念	・移動図書館の写真・歴史・巡回場所をパネル展示。 ・BM(移動図書館)のシール・しおりを配布するなど児童向けの事業を実施。 ※資料参照	
立川市立西砂図書館	開設30周年記念	・8月1日～10日に図書館のあゆみ、開館当時の館内風景の展示、また、基地に関する資料(飛行機・飛行場)を展示するなど西砂地区の特性(横田周辺)を生かした事業を行った。また、同時期に本のリサイクルも行った。	

図書館	周年	事業内容	備考
立川市立多摩川図書館	開館30周年記念	・～このベストセラー本を覚えていますか。～の実施(昭和54年1月30日の多摩川図書館開館開館を記念して当初から現在に至るまでのベストセラー本のパネル・実物の展示と、地元富士見町在住著者の図書を展示。)	
東大和市立図書館	開館30周年記念	・記念誌の発行、展示、講演会・トークショー等の開催	
三鷹市立図書館	50周年記念	<ul style="list-style-type: none"> ・地域とつながる新しい図書館活動の基礎づくりを進めるための市民ボランティアの「三鷹図書館サポーター」を募集 ・「図書館フェスタ」(2日間)を開催。2日間で延べ4500人が参加。図書館サポーターの「大人の遊び場企画チーム」が図書館フェスタの企画を行う。「みたか一箱古本市」や「ビブリオバトル」、「三鷹市立図書館シンボルマークの表彰」、庭を解放したガーデンカフェ等多様なプログラムを実施。フェスタの横断幕は武蔵野美術大学の生徒が作成。(大学が、三鷹市立図書館全体のブランディングやグッズの開発などを図書館と共同で取り組んでいるため) ・「50年後まで図書館に残したい本50冊」を利用者アンケートとワークショップで選び、50周年記念イベントで展示。1ヶ月間、絵本作家の亀岡亜希子氏の原画展を開催。また、開催イベントとしてワークショップ、ギャラリートーク、お茶会を実施。 ・三鷹ネットワーク大学との共催による連続講座を実施。 ・おとなが楽しむおはなし会の実施 <p>※資料参照</p>	
日野市立図書館	開設50周年記念	<ul style="list-style-type: none"> ・記念式典・講演会の実施 <p>※資料参照</p>	
狛江市立図書館	市制40周年記念	・写真集「昭和の狛江」発行	※市制40周年記念事業の一つ

その他

図書館	周年	事業内容	詳細
-----	----	------	----

図書館	周年	事業内容	備考
東京子ども図書館	設立40周年記念	<ul style="list-style-type: none"> ・おはなしのろうそくチャリティーマラソンの実施 ・出張講座キャラバンの企画 ・40年の活動の歴史をまとめたパンフレット「東京子ども図書館のあゆみ」刊行、記念グッズ販売 ※資料参照	
岡山県立図書館	開館10周年記念	<ul style="list-style-type: none"> ・「開館10周年記念県立図書館フェスタ 読書の魅力再発見！」を開催 ※資料参照	
神奈川県立図書館	開館60周年記念	<ul style="list-style-type: none"> ・特別記念展示「写真・家具・図書館用品が語る60年の歴史」の開催(展示内容:開館当初の写真、家具、昔の図書館用品、KL-NETの歩み) 	
足立区立中央図書館	15周年記念	地域ふれあいトークイベント「押井守の世界観」開催	
名古屋市図書館	開館90周年記念	<ul style="list-style-type: none"> ・名古屋市図書館90周年のあゆみの作成、図書館各館の歴史パネル展示 ・図書の10冊貸出しや各館ごとの記念行事、講演会を実施。 ・地元のJリーグクラブチーム「名古屋グランパス」との連携事業を開始。 ※資料参照	
成田市立図書館	30周年記念	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館開館記念映画会、記念文学講座、リサイクルフェア、クリスマスイベントの開催。 ・図書館川柳コンクール、、豆本づくりの実施。 ・記念読書手帳としおり、おはなしかいカードの配布 	
市川市立図書館	開館20周年記念	<ul style="list-style-type: none"> ・市川市のポスター・標語作品来館者投票 ・リサイクルブック市や特集展示の実施 	
横浜市立中央図書館	開館20周年記念	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会・パネル展示の実施 ・図書館所蔵の横浜浮世絵うや絵葉書等の画像データをアレンジした壁紙とブックカバーの作成。 	

図書館	周年	事業内容	備考
田原市立中央図書館	開館10周年記念	・「あの人が選んだ10冊」、「新聞に引用された本リターンズ」など本の紹介イベントの実施。 ・見学ツアーやお祝いメッセージの展示。 ・図書館開館10周年記念祭「図書館10歳おめでとう！」を開催。	

府中市立図書館 開館50周年記念事業企画書

府中市立図書館50周年記念事業実行担当

- 表 題 『50周年フェスティバル in ルミエール府中』
- 開催日 平成23年12月18日(日)
- 時 間 午前10時00分～午後7時00分
- 場 所 ルミエール府中
- 主 催 府中市(府中市立図書館)
- 共 催 TRC、文化振興財団、ロータスガーデン、東京ガス㈱、
通所授産施設ギャロップ、文化振興課
- 趣 旨 府中市立図書館の開館50周年を迎えたことについて記念行事を
開催し半世紀の節目を祝うとともに、更なる利用者の拡大への取
組みを企画する。
- 内 容
 - (1) コンベンションホール
記念式典(13:00～)
市長、副市長、教育長、市議、前職館長ほか来賓
北村 薫 講演会(13:30～) 600名
『読むこと、書くこと―読書の愉しみと作品世界を語る』
※15:30～サイン会
宗次郎 演奏会(16:30～) 600名
『オカリナとあったかトークの夕べ』
 - (2) 第一、第二会議室
貴重な16ミリ映像資料をデジタル化し、上映会を開催
解説者によるガイド、質疑応答あり。(2作品)
わらべうたとおはなし会
図書館児童担当が実施予定

電子書籍等、現代から今後への電子媒体の利用を紹介
TRC が市民サービスを展開
東北支援 報告写真展

- (3) 1F エスカレーター北側ホール部分
写真・パネル展
図書館の歴史を振り返る。(12/19~多目的室で展示)
- (4) 正面玄関前
クッキー、ラスク等販売 (社会福祉法人ギャロップ)
- (5) 図書館
わたしの一冊アンケート(未定)
- (6) 地区図書館
スタンプラリー (11月)

○協力体制

- | | |
|-----------|-----------------------------------|
| ①TRC | 電子書籍 PR コーナーの運営
書籍修理コーナーの運営 ほか |
| ②文化振興財団 | ルミエール府中施設の提供支援等及び当日の
来館者への案内 |
| ③ロータスガーデン | 50周年メニューの提供(未定) |
| ④東京ガス(株) | 宗次郎 演奏会の提供、その他景品等提供 |
| ⑤ギャロップ | クッキー等販売 |
| ⑥文化振興課 | 記念式典協力 |

府中市立図書館 開館50周年記念事業

第141回直木賞受賞作家

北村薫

講演会「読むこと、書くこと～
読書の愉しみと作品世界を語る」

写真提供:新潮社写真部



第1部
13:30 開場

〈第1部〉主催/府中市



Sojiro

Tokyo Gas エコハピ コンサート

宗次郎ライブ「オカリナと
あったかトークのタベ」

ヴァイオリン:今井博子 キーボード:蓮沼健介

写真提供:(有)風音工房

第2部
16:30 開場

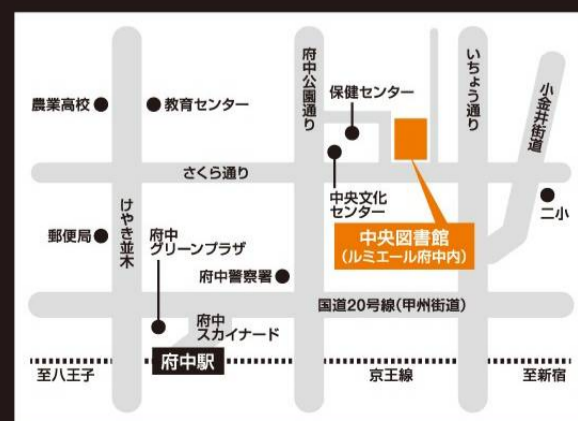
〈第2部〉主催/府中市 共催/東京ガス株式会社 多摩支店



2011年12月18日(日) 第1部 13:30開場
第2部 16:30開場

ご参加希望の方は、事前にお申込みいただく必要があります。(定員は各回先着600名)
くわしくは、府中市広報(10月1日号)、チラシ、もしくは府中市立図書館ホームページをご覧ください。

- その他のイベント(事前申込みはいりません) ● 図書館の歴史を振り返る『写真・パネル展』
- むかしの府中が映像でよみがえる『郷土ふちゅう 上映会』
- わらべうたとよみきかせ『出張おはなし会』・・・など



お問合せ先:府中市立中央図書館 TEL 042-362-8647 <http://library.city.fuchu.tokyo.jp/>

50周年記念事業

TRC提供図書館バッグ配布場所

① 記念式典	50周年記念誌等を入れる。	80 枚
② 北村薫 講演会	受付時	650 枚
③ 電子図書コーナー	アンケート者	100 枚
④ おはなし会参加者	参加者(保護者)	60 枚
⑤ 本修理体験	参加者	30 枚
⑥ デジタル化上映会	参加者	80 枚
	合計	1,000 枚

第3期 府中市子ども読書活動推進計画

中間報告アンケート（平成27年度実施）
集計結果について

府中市子ども読書活動推進連絡会

第 3 期府中市子ども読書活動推進計画中間報告アンケートの結果

1 調査の概要

(1) 調査の目的

平成 25 年 4 月より「第 3 期府中市子ども読書活動推進計画」を施行しているが、前半の 2 年が経過したところで、これまでの子ども読書活動推進計画に基づく事業成果の確認や、子どもの読書環境・読書意識等の現状を把握し、さらに読書活動を推進するための基礎資料として活用するために実施。

(2) 調査対象

保護者

- ① 保健センター（1 歳 6 か月児健診実施時）
- ② 市立幼稚園 3 か所
- ③ 市立保育所 3 か所

保護者と児童・生徒

- ① 市内の公立小学校 4 校（対象 児童 6 年生全クラス（4 校）と全学年の保護者（3 校））
- ② 市内の公立中学校 3 校（対象 生徒 2 年生全クラスと 2 年生の保護者）

生徒

- ① 市内の都立高校 1 校（対象 生徒 2 年生全クラス）

(3) 調査票

- ① 児童・生徒用（小学生・中学生・高校生共通）
- ② 保護者用

※ ①②共に記入し易いように選択設問形式とし、第 3 期計画策定時実施したアンケートとの対比も想定した構成とした。

(4) 調査方法

保護者用調査

保健センターでは、健診受付で調査用紙を配付して、健診終了後に回収する。幼稚園及び保育所、小学校、中学校では、調査用紙を自宅に持ち帰り記入していただき、後日回収する。

児童・生徒用調査

小学校、中学校及び高校では、各クラスごとに実施し回収する。

(5) 調査期間

平成 27 年 7 月

(6) 配付枚数及び回収率

保護者

① 保健センター

保健センター		
配付枚数	回収枚数	回収率
	135	

② 保育所

保育所		
配付枚数	回収枚数	回収率
325	175	54%

③ 幼稚園

幼稚園		
配付枚数	回収枚数	回収率
260	199	77%

保護者と児童・生徒

① 小学 6 年生

小学 6 年生		
配付枚数	回収枚数	回収率
306	291	95%

*保護者回収枚数 749

(兄弟関係の場合は、家庭に 1 枚の配付。)

② 中学 2 年生

生徒・中学 2 年生			保護者・中学 2 年生		
配付枚数	回収枚数	回収率	配付枚数	回収枚数	回収率
542	513	95%	542	288	53%

生徒

① 高校 2 年生

高校 2 年生		
配付枚数	回収枚数	回収率
281	270	96%

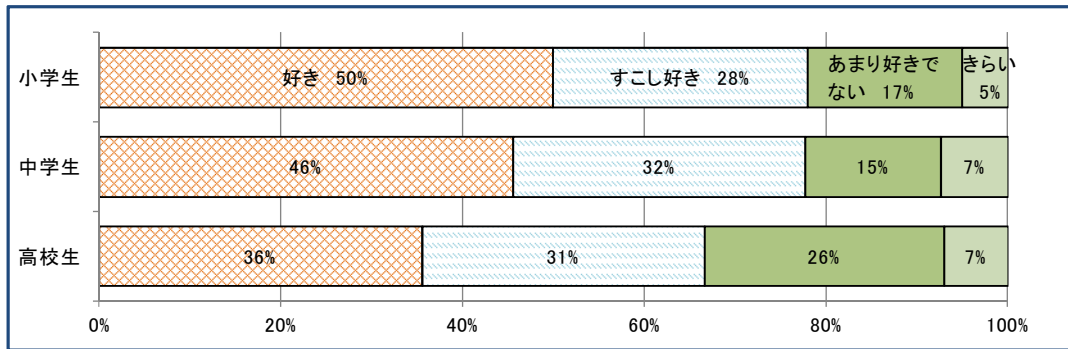
子どもの読書活動についてのアンケート結果

《本への興味》

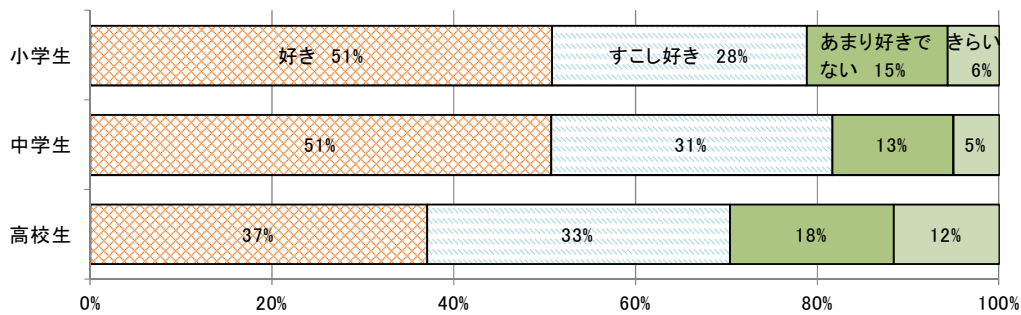
この計画を進めるうえで、現状把握して着目しなければならない取組が、「子どもたちと本との結びつき」といえます。読書と子どもたちとの関わりについて調査します。

① 本を読むことが好きですか？

【平成27年】

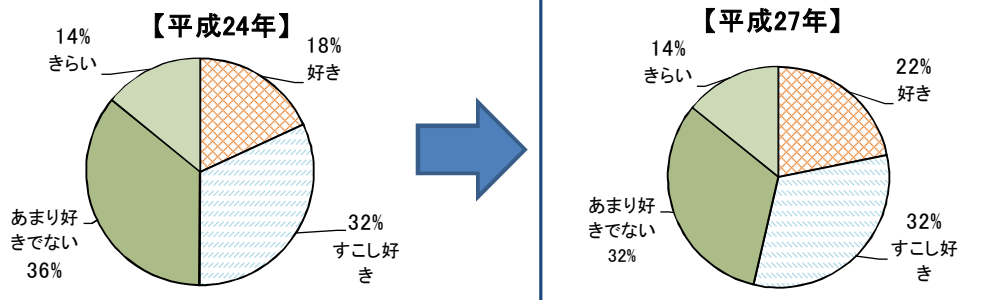


【平成24年調査時】



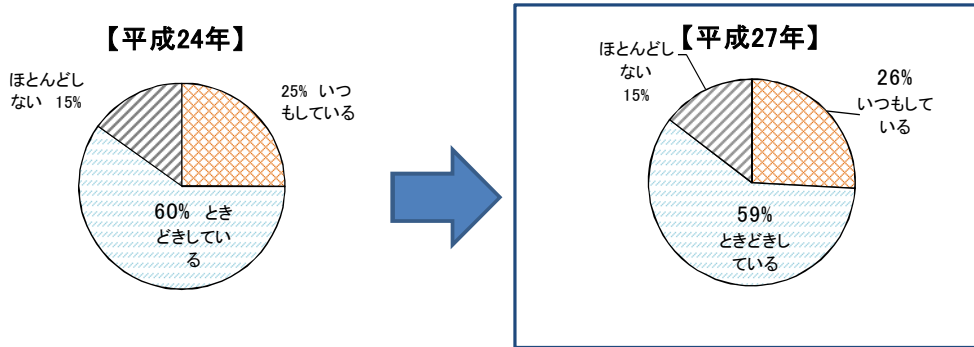
中高生の「あまり好きではない」、「きらい」がやや増加傾向にあります。

② 本を読んでもらうことが好きですか？ …小学生



平成24年と比較して、「好き」と答える児童が増えており、全体として半数以上が好きな傾向にあります。今後子どもたちが日常的に読み聞かせの機会を得られるよう、推進を継続していくことが重要です。

③ 子どもと一緒に本を楽しんでいますか？ …保護者のみ



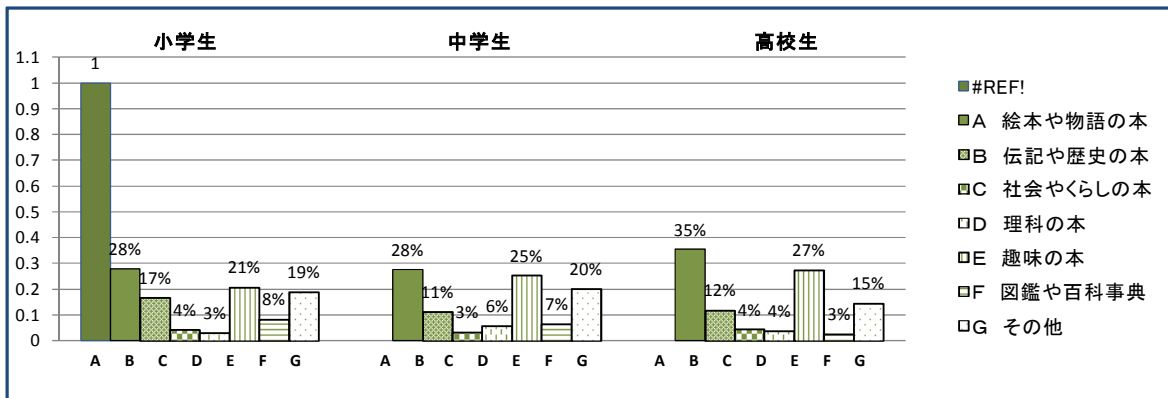
少しでも楽しんでいると答えた保護者は85%でした。平成24年と比較すると、変化はほとんど見られませんでした。

《子どもたちの実態》

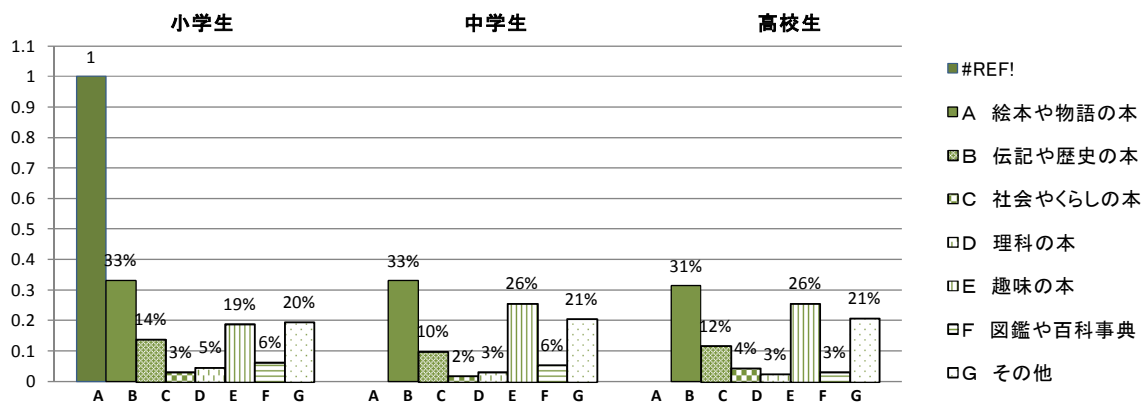
子どもたちの読書に対する考え方や、日常の実態についての調査をしました。

④ どんな本が好きですか？

【平成27年】



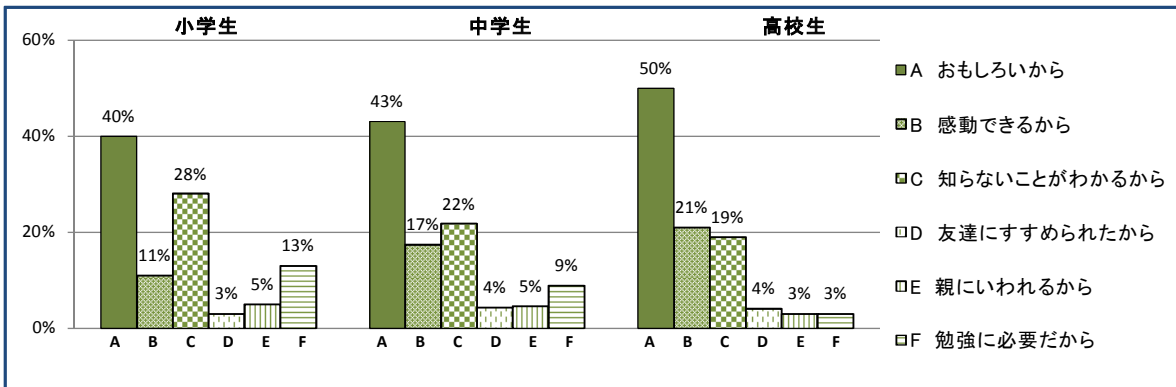
【平成24年調査時】



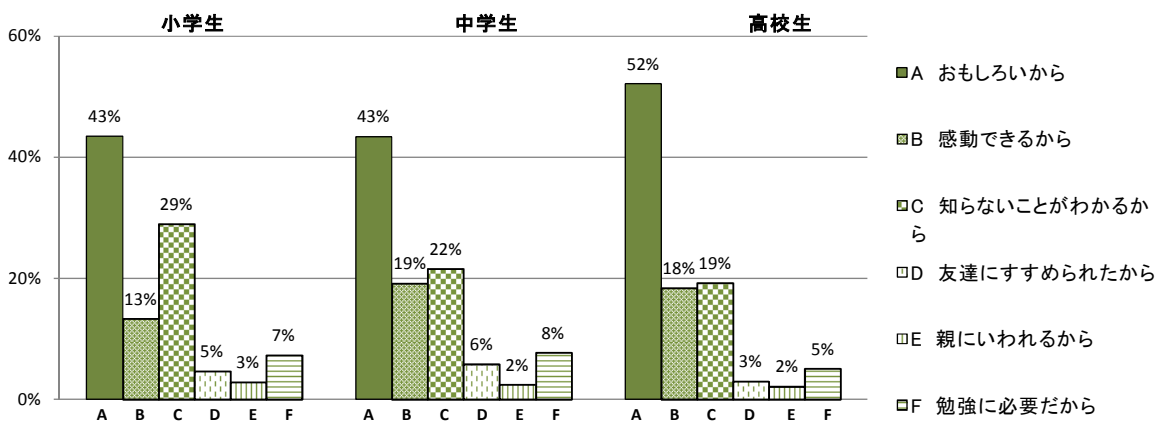
子どもたちの興味のある本は、平成24年と同様、絵本や物語の本、趣味の本やその他などが多く、小中高生ともに似た傾向が見られます。中高生になると、興味のある分野が絞り込まれ、より数値の差が大きくなっています。

⑤ どうして読むのですか？

【平成27年】



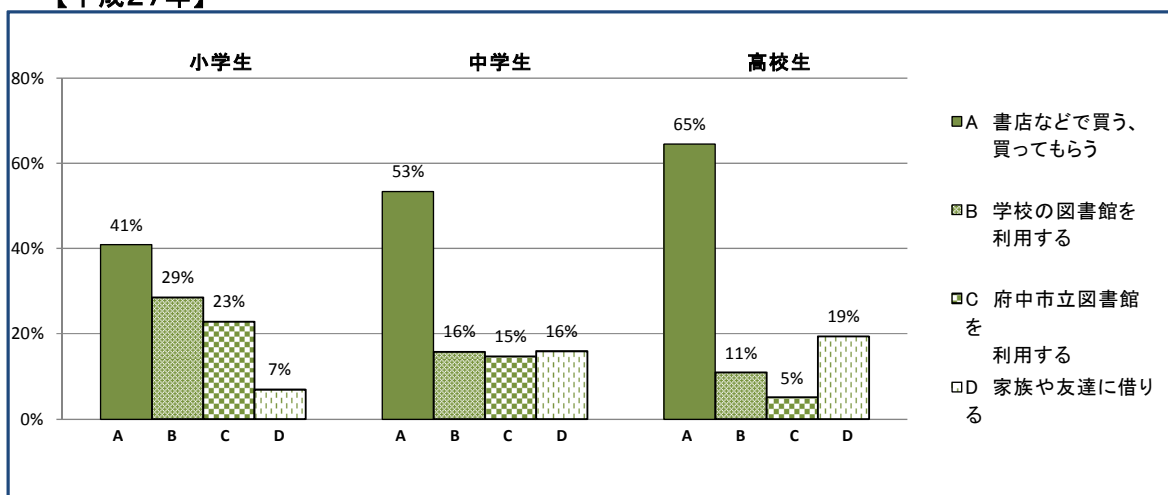
【平成24年調査時】



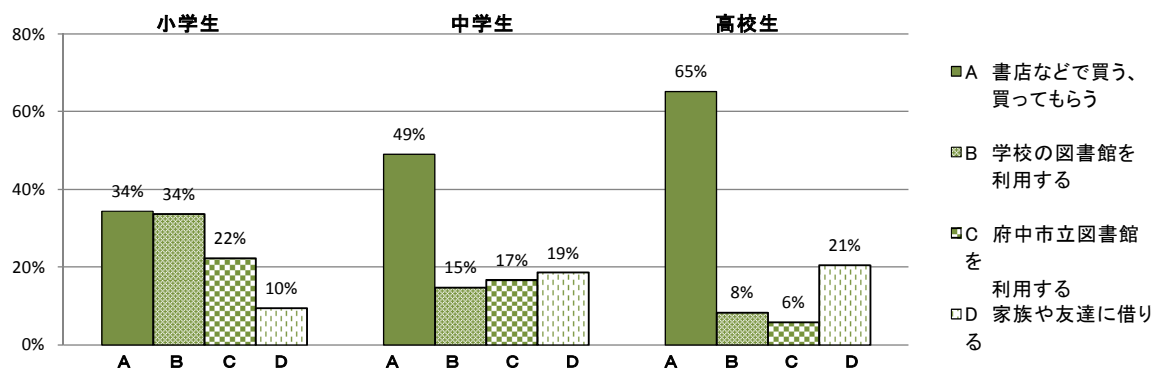
小学生では、「親に言われるから」、「勉強に必要だから」という回答がやや増加していますが、全体としては平成24年に引き続き、自らの意思で読書するという回答が90%を超えています。高校生では、大半が主体的な理由で読書をしていることが分かります。

⑥ どのように手に入れますか？

【平成27年】



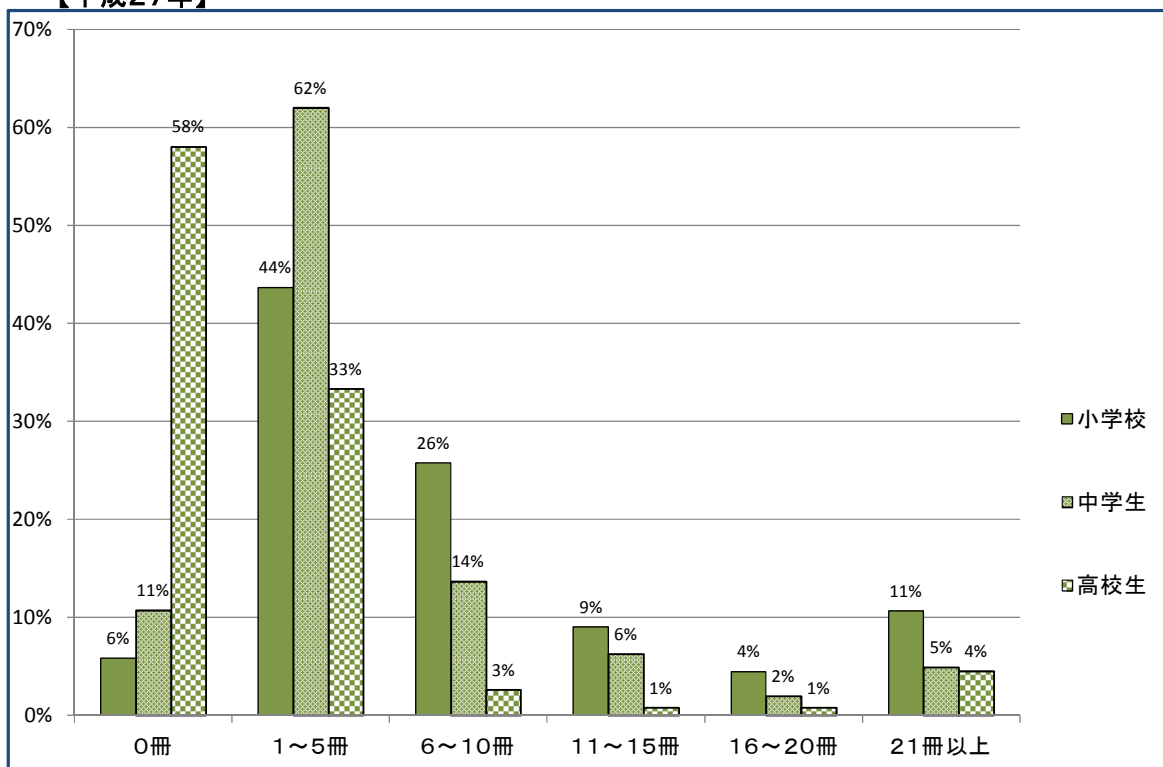
【平成24年調査時】



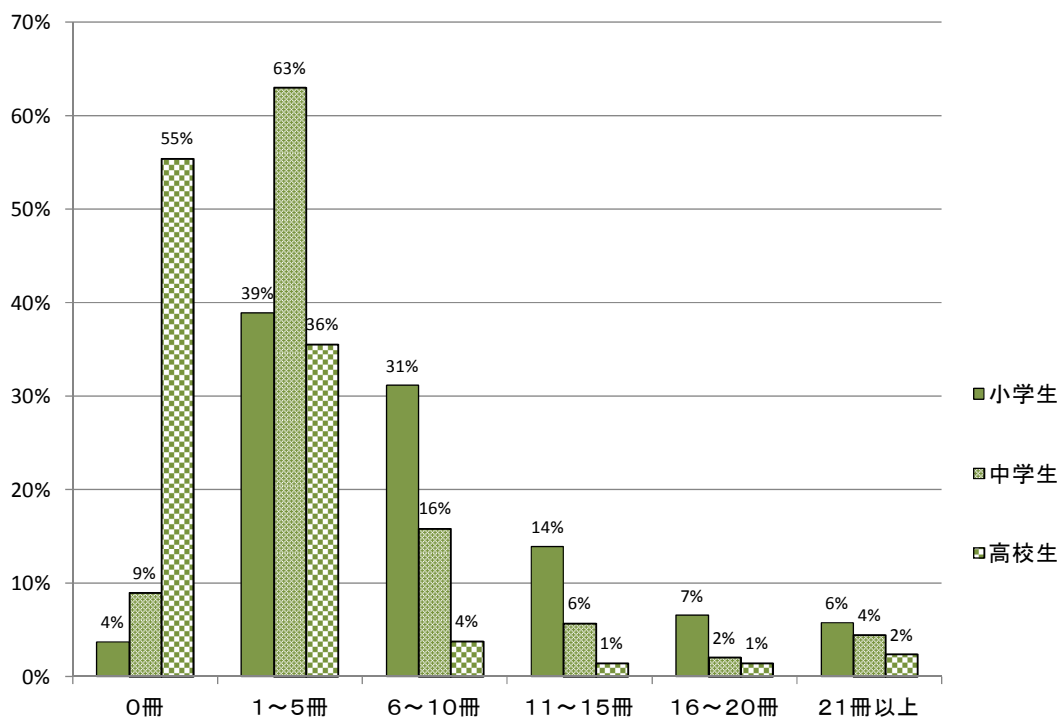
本の入手方法は年齢が上がるにつれて変化が現れます。借りると答えた割合は、小学生59%、中学生47%、高校生35%でした。平成24年に比べ、小中学生のこの割合が減少しています。子どもたちが活用しやすい図書館の環境を整備したり、利用の少ない高校生も訪れたいような工夫をする必要があります。

⑦ 6月中に何冊本を読みましたか？

【平成27年】



【平成24年調査時】



全体として「0冊」という回答がやや増加している傾向にあります。小学生については、平成24年と比較して、5冊以下と答える児童が増加する一方で、「21冊以上」も増加しており、一概に本を読まない子どもが増えたとは判断しがたい結果です。

《保護者の考える子どもと読書の関係》

保護者は子どもの成長過程の中で、何を必要と考えているのかを調査しました。

⑧ 読書は子どもの成長に欠かせないか？

【平成27年】

		1歳6か月	保育所	幼稚園	小学校	中学校	計	割合
読書は子どもの成長に 欠かせないか？	思 う	131	175	187	719	220	1,432	96.1%
	思わない	0	1	0	3	0	4	0.3%
	どちらとも	4	2	12	27	9	54	3.6%

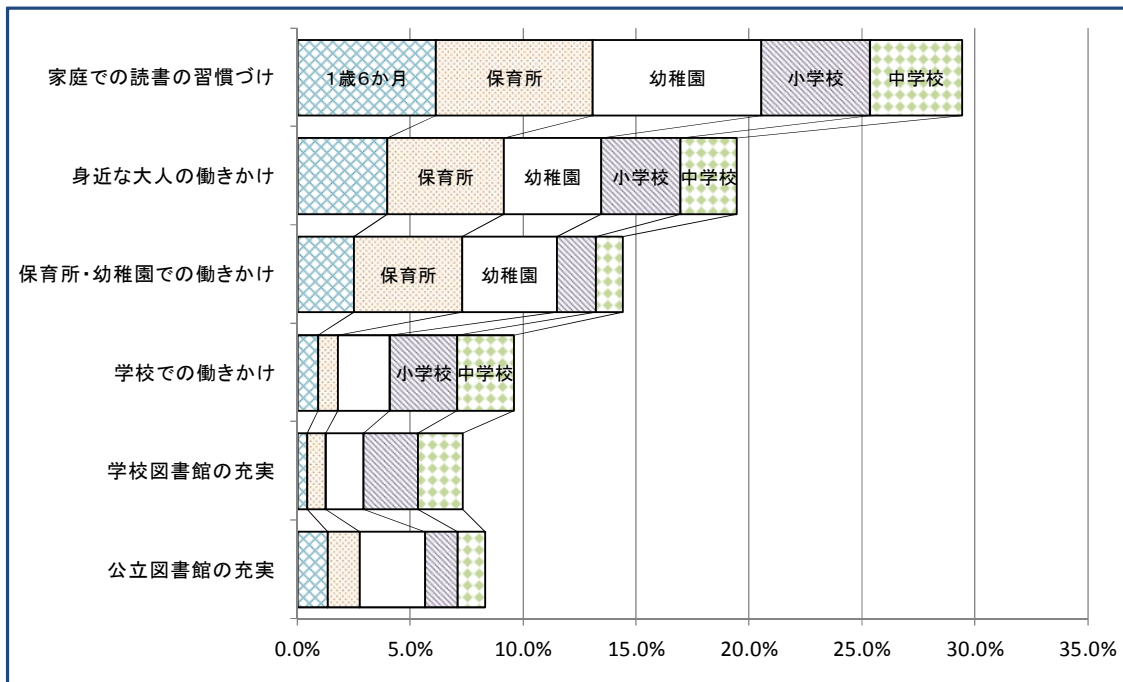
【平成24年調査時】

		1歳6か月	保育所	幼稚園	小学校	中学校	計	割合
読書は子どもの成長に 欠かせないか？	思 う	127	175	156	803	310	1,571	94.5%
	思わない	0	1	0	1	1	3	0.2%
	どちらとも	3	2	18	44	22	89	5.3%

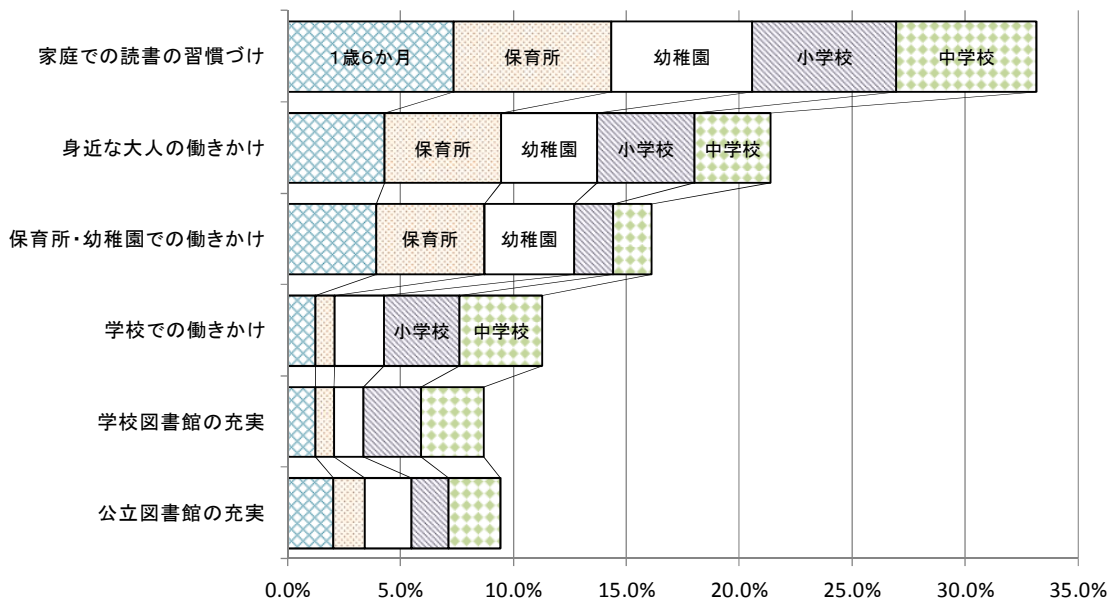
読書は子どもの成長に欠かせないと考えている保護者は全体で95%を超えており、平成24年より更にその傾向が強まっています。設問②「本を読んでもらうことが好きですか？」に対して「好き」と答える子どもが増加したこととの関連は少なからずありそうです。

⑨ 本を読む子どもを育てるために必要なものは？（3つ選択で回答）

【平成27年】



【平成24年調査時】



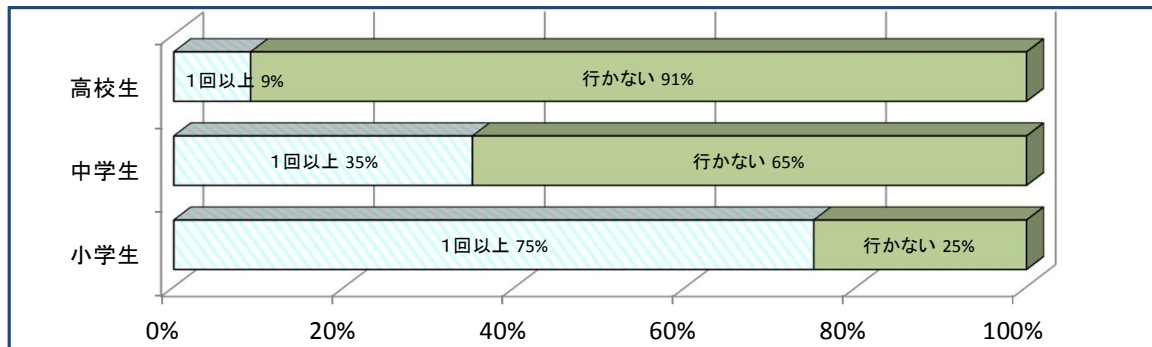
家庭での読書の習慣づけが重要と感じている傾向が読み取れます。就学前に読書へのアプローチを行う重要性を伺うことができます。

《施設の利用状況》

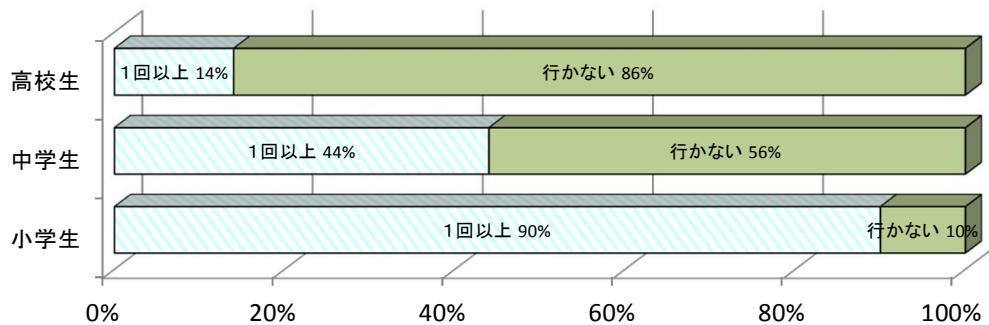
学校図書館、公立図書館など、子どもの読書活動を支援する施設の利用率の向上を図る上で、子どもたちの現状を把握し、その動向を追跡することは欠くことのできない要素といえます。

⑩ 1週間にどのくらい学校の図書室にいきますか？

【平成27年】



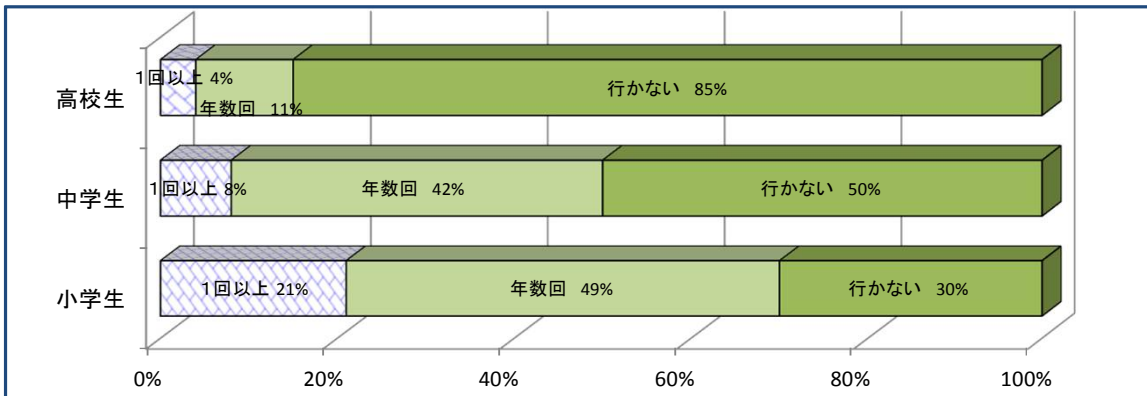
【平成24年調査時】



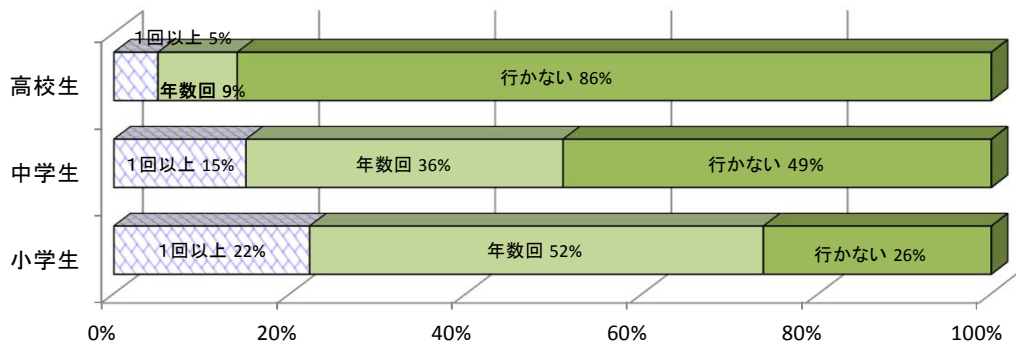
小中高と上がるにつれて、図書室を利用する割合が顕著に減少しています。平成24年と比較してみても、全体的にその割合が減少傾向にあることが伺えます。小学生については、「行かない」と回答する児童が15%増加しています。

⑪ 1週間にどのくらい府中市立図書館にいきますか？

【平成27年】

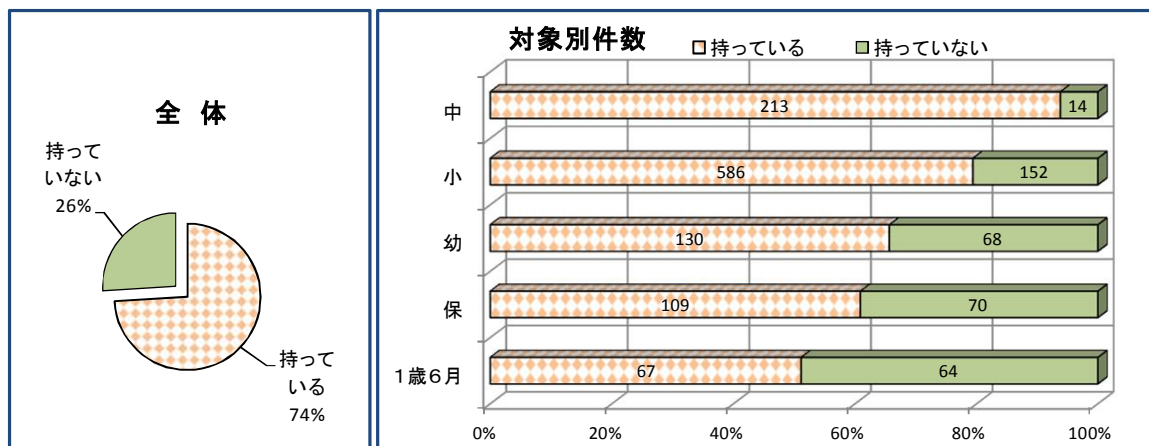


【平成24年調査時】

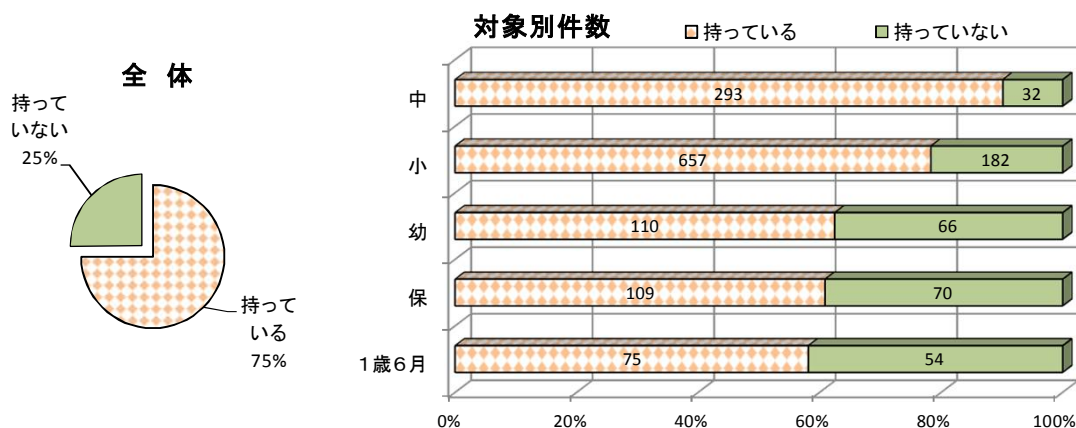


小学生は30%、中学生は半数、高校生は85%が「行かない」と答えています。小学生については、平成24年の結果より「行かない」との回答が更に4%増加しています。子どもたちの図書館の利用促進のために、より魅力的な図書館づくり及びPRに努める必要があります。

⑫ お子様は府中市立図書館の利用者カードを持っていますか？ …保護者
【平成27年】



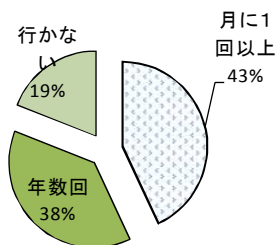
【平成24年調査時】



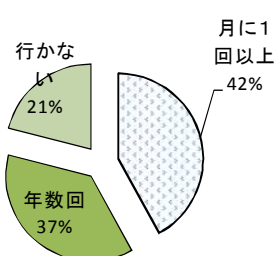
平成24年と比較してもほとんど変化がありませんでしたが、1歳6か月の「持っている」と回答した割合がやや減少しているようです。一方で、3・4カ月健診の会場で実施している赤ちゃん絵本文庫事業についての認知度やカードを作成した保護者の割合（設問⑮参照）はやや増加しています。赤ちゃん絵本文庫事業の継続はもちろん、図書館などのおはなし会やイベントのPRを促進するなど、幼い頃から図書館に足が向くような働きかけが必要です。

⑬ 府中市立図書館をどのくらいの割合で利用しますか？ …保護者

【平成24年】



【平成27年】



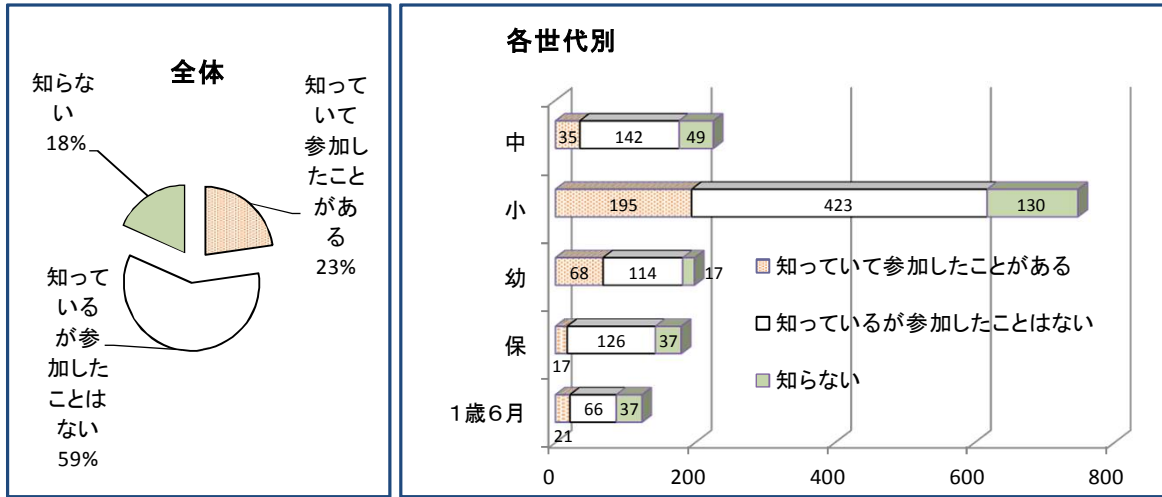
全体の8割近くが年に1回以上利用するという結果で、平成24年との変化はほとんどありませんでした。保護者の利用頻度がより高まるような取り組みを考えることが、結果的に子ども読書活動の推進につながるということは重要な観点のひとつです。

《認知度調査》

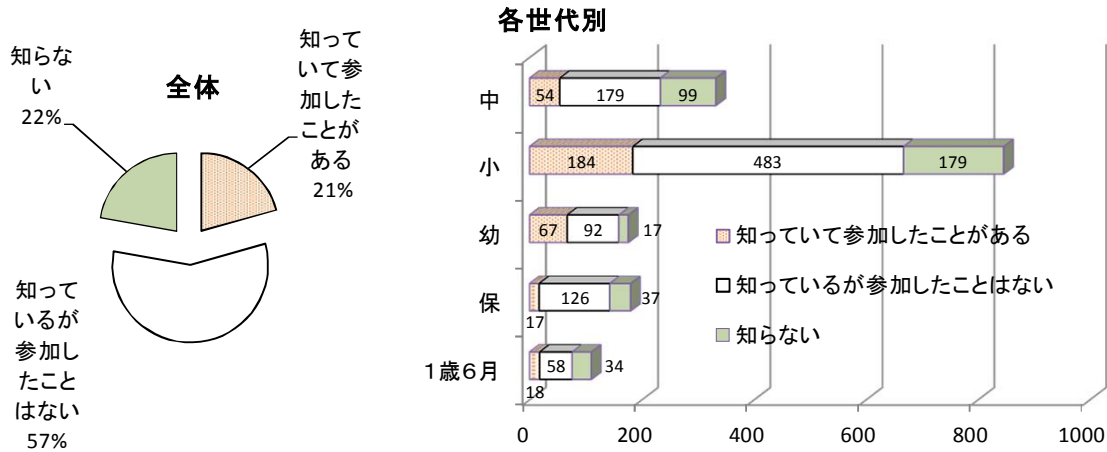
子ども読書活動を推進するのに、子ども向けの事業は数々ありますが、各事業の認知度を調査します。

⑭ 市立図書館で開催する「おはなし会」を知っていますか？ …保護者

【平成27年】



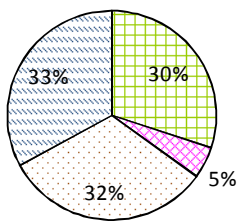
【平成24年調査時】



平成24年と比較すると、全体的に「おはなし会」の認知度及び参加割合がやや増加しています。「おはなし会」についての広報が一定程度できているとの評価ができます。また、地域や学校等での読み聞かせ活動が盛んに行われるようになり、「おはなし会」という名前も違和感なく受け入れられるようになったこともそれを後押ししていると考えられます。今後は、「知っているが参加したことはない」と回答した人が、実際に参加しようと思えるような工夫が求められます。

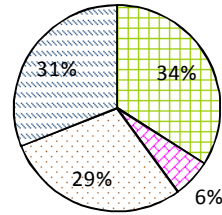
⑮ 「赤ちゃん絵本文庫」を知っていますか？ …保護者

【平成24年】



- 知っている(図書館利用者カードを作った)
- 知っている(読み聞かせに参加した)
- あることは知っている
- 知らない

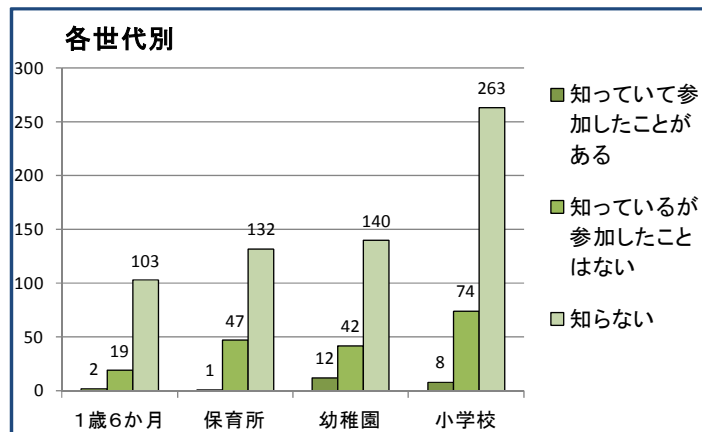
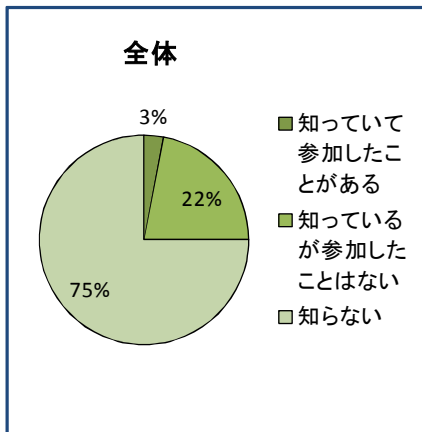
【平成27年】



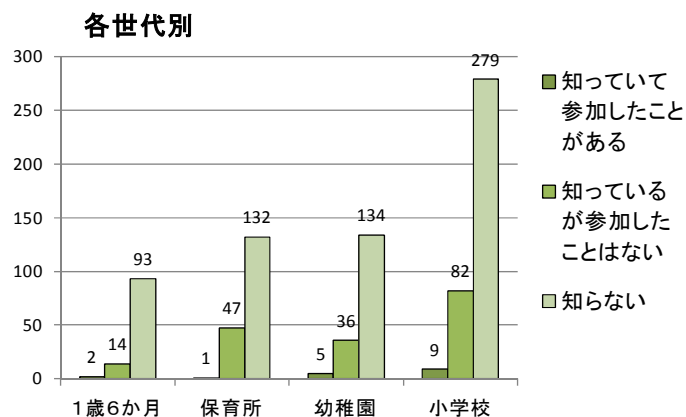
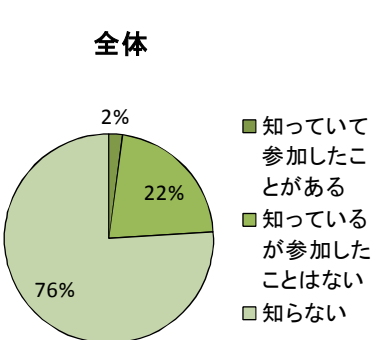
平成24年と比較すると、認知度及び参加割合が増加しています。特に、「図書館利用者カードを作った」とする回答が4%増加していることは、子ども読書活動推進のきっかけをより多くの子どもたちに与えることができていると考えられます。今後もこの事業を継続・推進するだけでなく、継続して図書館の利用がなされる働きかけを行っていくことで、ほかの設問についても好ましい結果が見込めることを期待します。

⑯ 「おはなしキャラバン」を知っていますか？ …保護者

【平成27年】



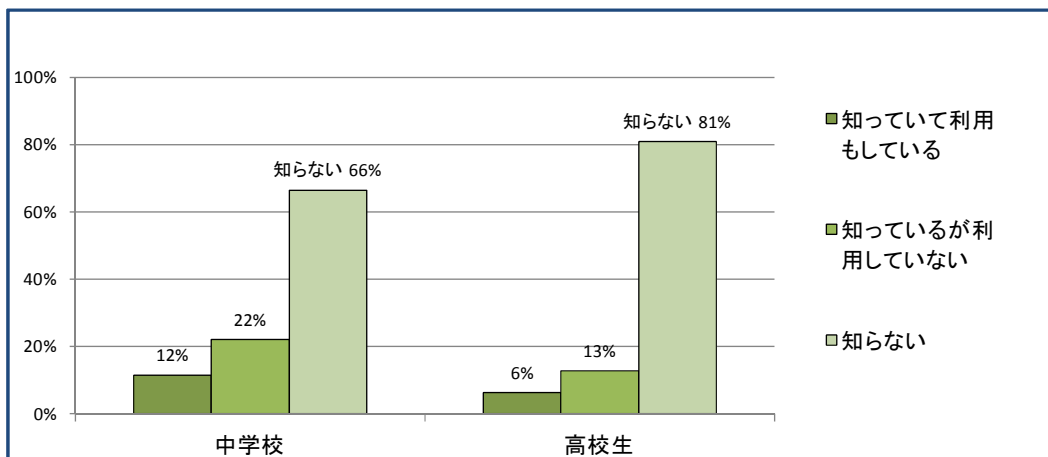
【平成24年調査時】



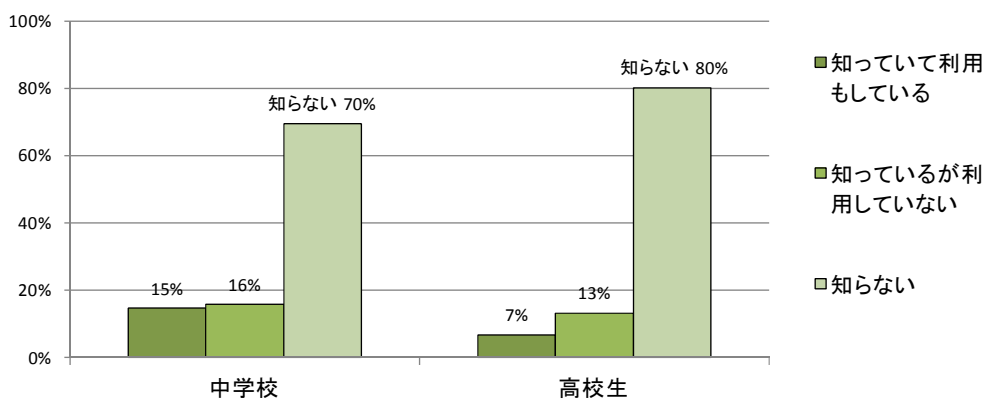
結果は平成24年とほとんど変化がなく、75%が「知らない」と回答しています。広報活動により力を入れるとともに、まだ開催をしたことのない地域にも順次拠点を移し、その名称どおり市内をめぐりイベントとしていきます。

⑪ YAコーナーを知っていますか(中高のみ)

【平成27年】



【平成24年調査時】



平成24年よりも認知度がやや上昇していますが、利用にはつながっていないようです。引き続きPRを行うとともに、中高生にとってより魅力のあるコーナーを整備していくことが求められています。

読書に関するアンケート調査(小学1・2・3年生)

このアンケートは、みなさんの読書活動について教えてもらうためのものです。

みなさんに協力していただいた結果は、5年間の「府中市子ども読書活動推進計画」の中間報告を作るために使わせていただきます。

※ このアンケートの中にある「本」にはマンガや雑誌は入りません。

↓ あてはまるこたえに○をひとつつけてください

Q1 本をよむことが好きですか？	<input type="checkbox"/>	すき
	<input type="checkbox"/>	すこしすき
	<input type="checkbox"/>	あまりすきではない
	<input type="checkbox"/>	きらい

Q2 本をよんでもらうことが好きですか？	<input type="checkbox"/>	すき
	<input type="checkbox"/>	すこしすき
	<input type="checkbox"/>	あまりすきではない
	<input type="checkbox"/>	きらい

Q3 どんな本が好きですか？ ★こたえは3つまで	<input type="checkbox"/>	えほんやものがたり
	<input type="checkbox"/>	でんきやれきしの本
	<input type="checkbox"/>	せいかつか、しゃかいかの本
	<input type="checkbox"/>	せいかつか、りかの本
	<input type="checkbox"/>	すきなことの本(スポーツ、おんがくなど)
	<input type="checkbox"/>	ずかんやひゃっかじてん
	<input type="checkbox"/>	そのほかの本

Q4 本をよむのはどうしてですか？ ★こたえは3つまで	<input type="checkbox"/>	おもしろいから
	<input type="checkbox"/>	かんどうできるから
	<input type="checkbox"/>	しらないことがわかるから
	<input type="checkbox"/>	ともだちにすすめられたから
	<input type="checkbox"/>	おやにいわれるから
	<input type="checkbox"/>	べんきょうにひつようだから

Q5 よみたい本はどのようにてにいれますか？ ★こたえは2つまで	<input type="checkbox"/>	ほんやなどでかう、またはかってもらう
	<input type="checkbox"/>	がっこうのとしよかんをりようする
	<input type="checkbox"/>	ふちゅうしりつとしよかんをりようする
	<input type="checkbox"/>	かぞくやともだちにかりる

↓ あてはまるこたえに○をひとつつけてください

Q6 <small>がつちゅう ほん</small> 6月中に本を なんさつよみましたか？	21さついじょう
	16～20さつ
	11～15さつ
	6～10さつ
	1～5さつ
	0さつ

Q7 Q6で「0さつ」とこたえたひとにしつもん します。 <small>ほん</small> 本をよまなかったのはなぜですか？	じかんがないから
	よみたい本がないから
	よむことがきらいだから
	ほかのあそびのほうがおもしろいから

Q8 1しゅうかんにどのくらいがっこうのとしょつにいきますか？	ほとんどまいにち
	3かいくらい
	1かいくらい
	いかない

Q9 1しゅうかんにどのくらい <small>ふちゅうしりつとしょかん</small> 府中市立図書館にいきますか？ <small>ふちゅうしりつとしょかん ちゅうおとしょかん ちくとしょかん</small> (府中市立図書館は中央図書館や地区図書館 <small>ぜんぶ かん</small> 全部で13館のこです。)	ほとんどまいにち
	3かいくらい
	1かいくらい
	<small>しゅうかん かい</small> 1週間に1回はいかないが、 <small>ねん かい</small> 1年に2、3回
	いかない

ごきょうりょくありがとうございました。

問合せ 府中市立中央図書館サービス係(児童担当)

電話 042-362-8647

